



## 熱海営業所路線バス全車両に 衝突防止補助システム「モービルアイ」を導入

株式会社東海バス（本社：静岡県伊東市 社長：眞野 大輔）は、バス乗務員の安全運転支援を目的に、インテルの子会社であるモービルアイ社（本社：イスラエル）が開発した後付け衝突防止補助システム「モービルアイ」を、熱海営業所の路線バス全車両39台に導入しました。

「モービルアイ」とは、自動運転車の開発にも使用されているカメラセンサー技術を後付け可能な衝突防止補助装置および運転支援装置として活用しており、その精度は、後付け装置としては世界で初めて、自動車の国際標準仕様であるISO15623「前方車両衝突警報システム」および保安基準に規定される「車線逸脱警報装置」の基準であるUN-ECE130号の認証を取得したことで証明されています。また、国土交通省の「後付け安全装置の性能評価制度」（公益財団法人日本自動車輸送技術協会実施）においても国内唯一である性能評価を受けています。

弊社では、モービルアイ社の日本総代理店であるジャパン・トゥエンティワン株式会社からの提案を受け、事故の未然防止対策に加え、乗務員が安心して働ける環境づくりの一環として、2017年度から2018年度にかけて全営業所の貸切バス全車両（44台）に導入を行っています。また、路線バスにおいても実証実験を行い、安全運行に対する有効性を確認できたことから、2019年度には路線バス事業者として全国初となる沼津営業所（旧：株式会社東海バスオレンジシャトル）の路線バス全車両（57台）への導入を行っています。

この度、更なる安全運行の推進を図るため、熱海営業所の路線バス全車両（39台）への導入拡大を行いました（営業所の路線バス全車両への導入は全国2例目）。今後とも計画的に導入拡大を進め、安全・安心・快適な運送サービスの提供に努めてまいります。



運転支援装置「モービルアイ」の概要は下記のとおりです。

## 記

### 1. 「モービルアイ」とは

「モービルアイ」は、自動車の前面ガラスに取り付けた単眼カメラをセンサーとして画像処理を行い、乗務員の「第三の眼」となり、自車直前の車両および歩行者などに衝突しそうな場合などに警報します。

### 2. 後付けできる安全装置「モービルアイ」の特徴

- (1) 自動運転にも使われている「車線逸脱警報」「追突警報」を後付けで導入できます。
- (2) 危険の最大2.7秒前までに追突の可能性を乗務員に伝え、追突を予防します。
- (3) ヒヤリハット発生時、直ちに乗務員に警告することで、安全運行を支援します。
- (4) バスに鉄道並の運転保安装置を導入することで、お客さまと乗務員を守ります。

### 3. 運転支援・事故防止機能について（運転支援表示例）



①追突警報 ②車間距離警報 ③車線逸脱警報 ④歩行者衝突警報 ⑤速度認識読取・警報

### 4. 導入効果について

- (1) 保有車両の運転支援・保安装置の共通化による乗務環境の統一、安全性向上。
- (2) 衝突被害軽減ブレーキには性能の限界があり、事前警報による「ぶつからない運転」の習慣化、乗務員・お客さまの安全性向上と安全運行の信頼性向上。
- (3) 運転技量の定量評価および将来の運行管理機器の高度化に向けた準備の構築。

以上

このニュースリリースに関するお問い合わせは、次の担当までお願いいたします。  
東海自動車株式会社 広報・CSR推進課 土屋・梅原 TEL：0557-36-1111